

## 幾代会 7月観察会のまとめ

- ◆集合場所と時刻 西武拝島線 玉川上水駅 南口階段下 10時集合
- ◆日 時 7月6日(日) 拝島発9時30分 及び9時40分  
10時まで来た人で出発します。
- ◆ポイント 玉川上水の自然観察及び玉川上水の背景を考える
- ◆ルート案内 玉川上水駅～清願院橋(玉川上水上流を観る、また、下流方向を見る)～玉川上水沿い南側を歩く～小平監視所(野火止用水 新堀用水)～上水小橋～清流復活の碑～玉川上水北側の歩道を歩く(新堀用水一土手の中通水と玉川上水の間の歩道)～足湯～小川橋(ここで昼食場所を探し昼食 1時間後この橋に戻り3分岐の北側 小川用水沿いに入る)～彫刻の谷緑道～小川用水分岐点～青梅街道～東大和市駅(終了2時～3時)



観察の様子



新堀用水 胎内堀坑口

- ① 玉川上水 水の流れと地層との関係 駅の東側は幅広く、下流は分厚い火山灰の層で狭く深い。
- ② 歩いた区間、玉川上水沿いの樹木は武蔵野の原風景を遺している。  
クヌギやコナラの木

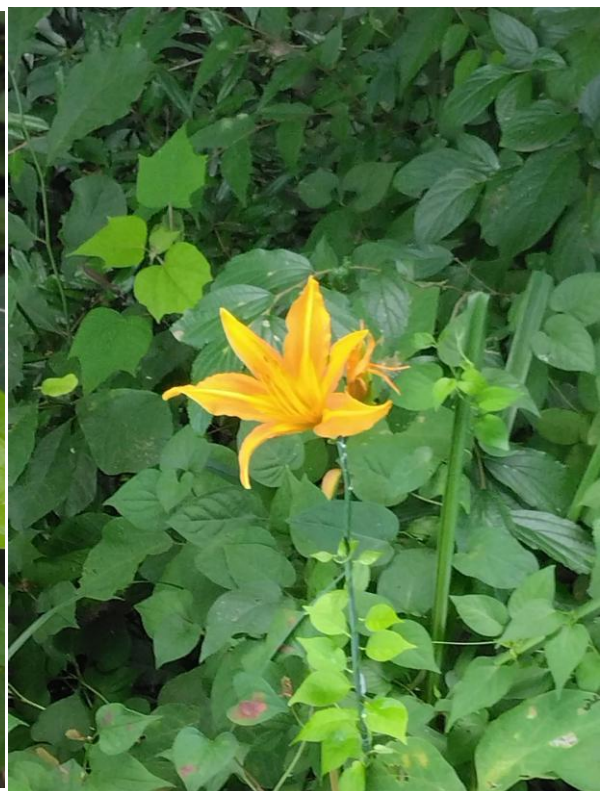
- ③ 玉川上水駅の付近は石垣やセメントのブロックで改変された流れになっている。
- ④ 清流復活付近では野火止用水と新堀用水（小川用水）が取水され、大半は村山貯水池へ送られる。
- ⑤ 清流復活の碑がある所からは下水処理水が復活水として流されている。
- ⑥ 火山灰層は厚く、南側（右岸）の壁は大きく崩れている。壁面があらわである。
- ⑦ 咲いている植物で目立ったのはヤブカンゾウやノカンゾウである。
- ⑧ 見出した植物はヤマユリ、ツユクサ、タケニグサ ミズヒキ ハエドクソウ エゴノキの実 コブシの実 ハルジオン ヒメジョオン ヤブカラシ 外来種等
- ⑨ 新堀用水（小川用水）は縦に掘り、そこから横に掘って通水する。途中から露出して流れる。新堀用水が一番新しい。
- ⑩ 小川橋付近で小川用水と新堀用水に枝分かれする。小川用水は北東に流れ、小川村の用水となった。新堀用水は玉川上水に沿って流れる。

○ 小川用水は小平村の開拓に大きく影響を与えた。武蔵野台地の開拓はここから始まる。水の分配は等分になるように東西の区割りを同じにした。青梅街道は東大和市から小平に入り小川用水沿いに作られている。

2025..7 中部記



ボタンクサギ



ノカンゾウ